

山行計画

鐘ヶ岳 2月24日(土) (佐藤文)

参加者：大沢 鈴木 佐藤文 野間 池田 芳賀
本厚木駅改札 7:40 集合

塔ノ岳(大倉尾根) 3月11日(日) (野間)

参加者：前田 大沢 鈴木 一之瀬 野間 石井

西穂高岳 5月上旬 (前田)

山行報告

鎌倉衣張山 1月28日(日)

日時；2018年1月28日 曇り 行程：約5時間
参加者：佐藤文子 鈴木 加賀屋 野間 芳賀 吉田会長 前田
武石 飯田 池田 (合計10名)

【コースタイム】

9:00 鎌倉駅 ⇒ 鎌倉鶴が岡八幡宮経由 ⇒ 9:30 鎌倉宮(大塔宮) ⇒ 永福寺跡経由 ⇒ 9:55 獅子舞登り口 ⇒ 10:20 天園ハイキングコース(右折) ⇒ 瑞泉寺下り分岐経由 ⇒ 11:10 明王院 ⇒ 報国寺経由 11:35 巡礼古道(衣張山) 入口 ⇒ 12:10 衣張山(昼食) 12:45 発 ⇒ 名越切通方面へ 12:15 お猿島の大切岸 ⇒ 13:20 まんだら堂やぐら群、名越切通し ⇒ 13:35 小坪7丁目遂道前 ⇒ 逗子駅又は鎌倉駅 14:10 解散

【概要】

8時50分鎌倉駅を出発。まず、源頼朝が妻政子の安産祈願のために造ったとされる若宮大路の「段葛」を歩いた。鶴岡八幡宮まで続く歩道には、真新しい石灯籠や桜の若木が整然と並び見事で趣があった。「桜の咲く頃に歩きたいな・・・」との声。



段葛



先日の雪

八幡宮の境内を通り抜け、まもなく源頼朝の墓がある白旗神社を巡り、更に鎌倉宮(祭神は大塔の宮護良親王)を経由して国指定史跡の頼朝が中尊寺を模して造らせたとき

れる永福寺(その後焼失)跡を通り過ぎた辺りから谷沿いの獅子舞いを上る。ここは紅葉の穴場だ。

途中、奇岩の獅子岩を眺めながら30分ほどで人気の天園ハイキングコースに合流する。

水分補給後、右折し瑞泉寺方面の分岐を更に直進する。ここからはコース外で道も狭く通る人も少ない、鎌倉の山と思えないほど静かな雑木林が続く中を進み、明王院(真言宗)へと下る。

境内は新年の大護摩行事で賑わっていた。信徒さんから誘われるままに立ち寄り、みんなで温かい甘酒をいただき ホットと一息!!



この後、報国寺の傍を巡礼古道入り口から登り12時10分衣張山(120M)に到着。

晴れていれば鎌倉の街と相模湾が一望でき遠くに大島、富士山、丹沢山塊を眺めることができるのだが、曇天で残念。



衣張山

昼食時、注意をしていたが、トンビが音もなく食べ物を持つ手と頭をかすめ飛び去り、間一髪セーフ!

昼食後、名越の切通方面へ、30分程行くと法性寺の境内に続く大切岸とお猿島に着く。日蓮上人が焼き討ちに遭い身を隠した洞穴で3匹の白い猿に助けられたとされる場所だ。

まもなく、逗子市の歴史文化財保護の「まんだら堂やぐら群」だ。横穴式墓所が帯状に沢山空いており異様な



まんだら堂やぐら群

光景がフェンス越しに見えた。

この後、行く手が崖で阻まれ狭く切り開いた「名越の切通」に着く。鎌倉幕府が三浦一族からの攻めを守るための砦だったらしい。

三方山に囲まれた地形の鎌倉七口の切通の一つのことです。

最後、小坪トンネル前に下り、数人は逗子駅へ残りは鎌倉駅で14時10分散散した。

今回の山行案内に際し筆者は、「鎌倉の歴史を訪ねる山行」にすることを思い付き、同行の皆様には、にわか勉強で浅薄な知識にも関わらず聞いて頂き感謝いたします。

(記録・写真：池田)



名越の切通

浜石岳 2月11日 (日)

コース：由比駅—西寺山コース—浜石岳—薩埵峠—興津駅

参加者：吉田 前田 高橋 加賀屋 鈴木 佐藤 文一之瀬 三浦 前島 角田 芳賀 星野 石井

私にとって、おそらく1983年夏の雪稜祭参加以来の雪稜会の山行ではないかと思えます。

6時36分横浜発熱海行きに飛び乗って辺りを見回しましたが、ザックを持っている人は見あたららず、少し不安なスタートでしたが、熱海駅での乗り換え時には13名全員がそろい、最後尾車両は雪稜会の指定電車の様相で由井駅に到着しました。

由比桜えび通り



エビのオブジェのアーチの有る由井駅前を9時15分前に出発。10分ほど駅前の道を歩いた後、左折して、山の方へ向かいました。

新幹線を跨ぎ、車道を登っていきます。

車で頂上に向かう何台かのタクシーに追い越されながら1時間半ほど歩いて左側の山道に入りました。

やっと山行の雰囲気となり、かなりの傾斜でしたが、30分ほどで見晴台に到着。

ここはキャンプができる場所でした。

この後、先行する9名と我々のんびり組4名の距離が段々離れていき、浜石岳と薩埵峠を結ぶ稜線道にぶつかった時には、本当に右の浜石岳の方向に先行部隊は向かったのかが心配でした。

何かしら連絡があればよかったと思います。

ここから頂上までは15分。富士山はもちろん、愛鷹山、伊豆の連山、眼下には三保の松原、清水の港が見わたせる、のどかな広い浜石岳の頂上でした。



浜石岳

707mの標識を携え、バックに富士山を従えて浜石岳の記念写真。40分ほど昼食タイムを取って、12時50分以下山を開始しました。

薩埵峠へは尾根沿いの9kmの長い道。

根っこの絡んだ急坂や木漏れ日の漏れる樹林帯、竹林の森等を抜け、長い、長い下り道でしたが、海岸に近づくと、昔は本格的なみかん山だったので、収穫用の軌道跡が何本も出てきました。

途中2回程、水補給の軽めの休みをはさみ、道路に出た時は15時50分。薩埵峠の休憩所まではさらに20分かかったの到着でした。

下山途中、ペースが上がらない時があり、ヘッドランプがいるようになることを心配したり、標識に書かれて駿河湾に面した清水港の北に位置する薩埵峠は標高93m

いる薩埵峠迄の所要時間が急に減ったり、または増えたりするのに一喜一憂しましたが、思ったより早くの到着で一安心でした。先行グループの方からは、何を言っているだと言われそうですが。

薩埵峠の見晴台では梅と桜の両方が迎えてくれ、また広重が描いた東海道53次の「由井・薩埵嶺」と同じ構図を写真に収めました。



左の断崖、さすが浮世絵は誇張されてかかれています、この時は雲一つない浮世絵と同じ富士山を納めることができました。

興津駅まで80分の標識でドット疲れが出ましたが、電話で聞いた駅の手前のファミリーマートのビールを頭に描いて、北風が吹き始めた道路を1時間で駅までなんとか歩き、17時39分発の電車ですり抜けました。

私より年配の方も多数いらっしゃいましたが、皆さんの健脚ぶりには感心させられた復帰1回目の山行でした。

(記録：石井、写真：佐藤)

薩埵峠

興津地区と由比地区の境界付近は、薩埵山が海へと突き出す地形となっており、古くは海岸線を波にさらわれぬよう駆け抜ける必要があった。

このため、同様の状態であった新潟・富山県境の親不知と並び称され、東海道の三大難所として語られてきた。このため山側に迂回コースとして造られたのが薩埵峠である。



歌川広重「東海道五拾三次之内 (由井・薩埵嶺)」

の小さな峠で、峠道はミカン畑のある急斜面の細道ながら、興津駅と由比駅の間には遊歩道も整備されている。峠にある展望所からの富士山と駿河湾の景色は、歌川広重の浮世絵『東海道五十三次・由比』にも残されるほどの絶景で、東名高速道路の宣伝材料など、さまざまな素材にも利用されている。

また、ここから見渡せる由比地区西部が東名高速道路と国道1号およびJR東海道線が並行して走る区間で交通の要所でもあることなどから、通過交通の現況を一覧できるポイントとして、在静の民放(静岡放送、テレビ静岡)やNHK静岡放送局が、薩埵峠からほど近い場所に情報カメラを設置している。

薩埵という名称が「去った」と読めて語感が悪いという理由で、江戸時代末期の和宮の徳川家茂への婚儀の行列はここを通らず、中山道を通じた

下曾我丘陵2月17日(土)

コース：上大井駅9:00-いこいの村-曾我丘陵-国府津駅13:00

参加者：吉田 一之瀬 瀧 芳賀 石井

4年前の2月に19名という大人数で来て以来の曾我丘陵である。

今回は下曾我の梅まつりの会場には立ち寄らずに曾我丘陵を縦走して国府津駅まで歩く計画である。

四季の里で農産物を買って入ってから尾根道を辿る、ほとんどが舗装された道であるのと、何度も来ていることもあって距離の長い散歩のような気楽な気分で歩ける。

人数が少ないせいもあって杉林の中や梅林を観ながら快調に歩を進める。

国府津駅まであと1時間ほどの所で柑橘類の100円



販売所が現れ、ここでも買い物をしてザックが満タン状態になってしまう。

ここに来るときには一回り大きなザックを持ってくるといいと再確認した次第です。

その先の海を見下ろす桜の木の下で昼食、西風が強いが日差しには何となく春が近づいているのを感じる。



足柄平野に広がる小田原の街並みを見下ろしながら国府津駅まで下る。

予定より早く13時に国府津駅に着く。

家に着くと丁度、羽生選手の金メダルの演技が行われるところで感動に浸ることができました。

(記録、写真：吉田)

新入会員

石井彰さんが2月5日に入会されました

集会記録 1月18日(月)(一之瀬) 18:00~19:00

出席者：吉田、前田、一之瀬、武石、瀧、芳賀

1. 山行報告

① 弘法山・権現山 (吉田)

1月14日(日)

通信に報告。

② 三浦アルプス (前田)

1月19日(金)

安針塚から塚山公園を通り、乳頭山に出た。南尾根を辿って仙元山に行き、葉山教会の方へ下りた。新逗子から金沢八景、追浜に出た。5時間30分位歩いた。静かな山で、天気も良く良いハイキングだった。相模湾に照り返す夕日がきれいだった。

2. 山行計画

① 衣張山 (池田)

・参加者追加：加賀屋、前田

② 浜石岳 (吉田)

・参加者追加：一之瀬

③ 鐘ヶ岳 (佐藤文)

④ 下曾我 (吉田)

・2月17日(土) 次回提案

3. その他

① 会計報告 (瀧)

会費を上げたので、余裕がでた。

② 高橋泰さん 退会

退会された方もOBとして、行ける山行や会には参加してもよいのではないかと。

連絡の方法を考えたい。

※大雪のため、欠席者多く、早めに終了した。

集会記録 2月5日(月)(一之瀬) 18:00~19:00

参加者：吉田、前田、鈴木、大沢、佐藤文、一之瀬、瀧、三浦、野間、星野、芳賀、OB、石井、吉田、砂川

2. 山行報告

① 衣張山 (佐藤文)

1月28日(日) 鎌倉駅 9:00→14:00 鎌倉駅

天園から衣張山に入るコースは、初めて歩いた。衣張山には、12時頃着いた。お弁当のとき、トンビが来た。まんだら堂に入ることができた。鎌倉には14時ころ着いた。池田さんが歩くコースの歴史を事前に調べて解説し

てくれたので、勉強しながら歩いた。前田さんは、その後、鷹取に行って戻った。

2. 山行計画

- ① 浜石岳 (吉田)
- ・予報が悪いので、日程の変更を考えたが、参加できなくなる人が多いため、予定通り実施。前日7時の予報で、50%以上の降水確率の場合は、中止。
- ② 下曾我丘陵 (吉田)
- ・2月17日(土) 御殿場線上大井 8:45 集合
 - ・上大井駅→いこいの村→不動山→本松跡→国府津駅
 - ・国府津駅まで歩く。四季の里、野菜購入可
 - ・参加者：吉田、大沢、一之瀬、三浦、瀧、芳賀、石井
- ③ 鐘ヶ岳 (佐藤文)
- ・本厚木駅改札口 7:40 集合 バス 8:00 発
 - ・広沢寺温泉→浅間神社→鐘ヶ岳山頂→日向薬師分岐→広沢寺温泉→バス→伊勢原駅
 - ・参加者：鈴木、佐藤、野間、池田、芳賀、大沢
- ④ 訓練山行 塔の岳 (野間)
- ・3月11日(日)
 - ・スパッツ、アイゼン必要
 - ・参加者：前田、大沢、鈴木、一之瀬、野間、石井
- ⑤ GW 雪山山行 (前田)
- ・西穂岳方面 2泊3日位 次回以降提案する。
 - ・新穂高温泉→ロープウェイ→山荘(泊)→独標往復(山荘泊)→上高地
 - ・軽アイゼン、スパッツ、雨具で装備はOK
- ⑥ 夏山 (前田)
- ・北海道はどうか 知床(羅臼、斜里、雌阿寒岳等)

3. その他

- ① 新年山行の会計報告 (瀧)
- 当日集金分不足(1,809円)のため、会費より支出する。
次回からは余計なものは買わない、必要なものだけを購入すること

集会日 場所 県民サポートセンタ

3月5日(月)	601号室	18:00~20:00
3月19日(月)	601号室	18:00~20:00
4月9日(月)	602号室	18:00~20:00
4月23日(月)	602号室	18:00~20:00
5月14日(月)	602号室	18:00~20:00
5月28日(月)	602号室	18:00~20:00
6月11日(月)	602号室	18:00~20:00
6月25日(月)	602号室	18:00~20:00

山行を希望する山

毛無山
三つ峠山
木曾駒ヶ岳・空木岳
薬師岳
北横岳・蓼科山
荒川三山
北海道：知床(羅臼岳)、斜里岳、雌阿寒岳等